

第3回（仮称）子ども発達支援計画行動計画2024～2026 検討部会の開催結果について

1 概要

- (1) 日時 2024年1月17日（水）18時30分から19時50分まで
- (2) 場所 市庁舎 会議室2-2
- (3) 内容 議題2件
「意見募集の実施状況について」
「（仮称）子ども発達支援計画行動計画2024～2026原案について」
- (4) 出席 部会員7名、事務局18名、傍聴者0名

2 議題

- (1) 意見募集の実施状況について

事務局説明	<p>資料4により、計画素案に対する意見募集の実施概要と意見の提出状況について説明した。</p> <p>また、頂いた意見に対する市の考え方や回答の方向性などについて以下のとおり説明した。</p> <p>① No.1～5の意見は、同一の市民からであり、率直な意見として真摯に受け止め、関係部署と共有し今後の参考としたい。</p> <p>② No.6の計画相談の受け手が少ない状況については課題と認識しており、引き続き法人に指定申請を促していきたい。</p> <p>③ No.7については所管課と調整中だが、教員に対する特別支援教育の研修も併せ、様々な取組を進めていきたい。</p> <p>④ No.10の申請窓口等がわかりにくいとの意見については、改善に努めたい。</p> <p>⑤ No.11の災害への備えについては、今後、個別避難計画の策定を通じて対応したい。</p> <p>⑥ No.15の療育記録ノートについて、配布方法を拡充していきたい。</p> <p>⑦ その他については、関係部署と調整を進める。</p>
-------	--

<p>主なご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① LINEで意見が提出できるのはとても良い。今後も継続してほしい。 ② LINEについては、個人情報保護やセキュリティとのバランスを保ちながら検討してほしい。 ③ 意見は具体的で、内容としては実現可能なものも多くある。可能なものから取り組んで欲しい。 ④ No. 6の計画相談の受け手が少ないとの意見について、量的な拡充とともに質的な側面も充実させて欲しい。 ⑤ No. 8の「知能指数の高い子ども」は知的障がいのない発達障がいの子どもの想定していると思われる。そのような子どもへの対応について、教員の研修も含め教育環境の充実が求められる。 ⑥ No. 11の災害時の医療的ケア児への対応について、備品は量だけではなく、形状（オムツのサイズ、チューブの長さ）等、個々に応じられるよう備える必要がある。特に電源は命に直結するため、万全にしておく必要がある。 ⑦ No. 13の「冒険遊び場が今回の計画にない」という意見について、計画原案（資料7）の78ページのコラム「分け隔てなく、子どもや家族が集える場・家族同士が交流できる場」で紹介しても良いのではないか。 ⑧ 障害児通所支援の指定は東京都が行っている現状において、質の担保を目的とした市の関与は課題である。
--------------	--

(2) (仮称) 子ども発達支援計画行動計画2024～2026原案について

<p>事務局説明</p>	<p>計画原案について、第2回検討部会で示した計画素案からの変更点を中心に、資料6、7により説明した。</p>
<p>主なご意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料7の77ページの「インクルーシブ遊具広場整備」について、遊具をどのように整備していくのかがイメージできるように具体的な説明があると良い。 ② 資料7の78ページのコラム「分け隔てなく、子どもや家族が集える場・家族同士が交流できる場」について、紹介されている団体にアクセスしやすくなるように、問い合わせ先などがあると良い。 ③ 同コラムについて、一般の市民が、障がいのある子どもへの理解を深め、分け隔てなく接するように意識が変わっていけるような取組の紹介が加わると良い。